

▼展示のあらまし

博物館では、誰もが少しでも見やすいように展示するのが基本です。でも、興味関心がないと、展示品の前をつい素通りしてしまうことはないでしょうか？あるいは、何となく見ていて、印象が薄いことはないでしょうか？そこで今回はちょっと意地悪をして、あえて展示品を隠し、そのもののシルエット（影）だけをお見せすることにしました。まずは謎のシルエット（影）を見て「何だコリヤ？」とつぶやいてみてください。すぐにピン！と来ることもあれば、どうしてもわからない場合もあるでしょう。それは別にどちらでもよいのです。正解を求めているわけではありません。あれこれ想像したり、じっくりと観察することに意義があると考えからです。

今回の展示品は考古資料（市内の遺跡から出土した遺物）に絞ることにしました。謎のシルエット（影）の正体を探るうえで、ヒントとなる（関連する）展示品を本企画展の会場と同じ博物館の2階（考古資料の展示フロア）だけで見つけることができるようにするためです。本展によって、これまで何気なく見ていたかもしれない展示品に目を凝らし、新たな発見の契機となれば、幸いです。

▼展示見学の手順

1) 展示ケース内の考古資料（市内の遺跡から出土した遺物）はカーテンで目隠しされていて、そのままでは見えません。展示ケースには、隠された考古資料のシルエット（影）がパネルで表示してあります。

2) シルエットを見て、隠された考古資料の正体がわかったら…
わからなかったら…

3) シルエットのパネルのそばに、その正体を知るためのヒントが置いてあります。

4) ヒントを読んで、シルエットの正体がわかったら…
わからなかったら…

5) ヒントの中には、シルエットの正体と関連する展示品の場所が記されています。
ヒントに記された展示品を探してみましょう。博物館2階のどこかにあります。

6) ヒントに記された展示品を見つけて、シルエットの正体がわかったら、元の場所に戻り…

7) どうしてもわからなかったら…

さあ、カーテンをめくって実物と対面してみましよう！

さて、想像通りのものでしたか？